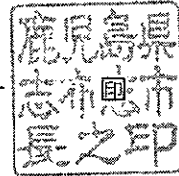


志建第 466 号
平成20年10月15日
(建設課扱い)

国土交通省道路局長 様

志布志市長 本田 修一



「今後の道路行政についての意見・提案」の回答について

このことについて、別紙のとおり回答します。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

中核国際港湾を抱える本市にとっては、国際競争を勝ち抜く上からも、周辺都市との連結を図る高速交通体系の整備を急ぐことを最優先に考えている。道路特定財源のような安定した財源のもとで、計画的な遂行による一日でも早い完成こそが、整備の効果を最大限に発揮させるものとする。また、安心・安全で信頼できる高速道路網により輸送コストの縮減を図り、真に地域間競争の条件の平準化が整うものとする。

一方、生活に密着した道路(市町村道)の維持管理、地域幹線道路の改良、歩道設置など地方の道路予算は地方単独予算によるものがほとんどである。さらには、合併による行政エリアの拡大による旧地域を補完するための道路の整備も必要となる。道路財源の使途については高速道路の新設だけではなく、これらの道路整備に充てることが優先されるべきである。

地方の道路は、高度成長期に集中的に整備され舗装の耐用年数が既に過ぎている。本市では、志布志港からの飼料運搬車やコンテナ車の大型化による路面の劣化は著しく、舗装新設から数年で補修(打ち換え)となるなど、これを沿線住民への振動被害問題と併せ、市道管理者としては深刻な問題と捉えている。さらには、橋梁などの重用構造物についても補修や更新にかなりの費用を要するものと予想される。その対策として、長寿命化を検討していく必要に迫られているが、このような情勢の中いろいろな要因を鑑みても、地方における道路予算については特定財源の使途に加えてもらいたい。

地域格差が問題となっている今日、高速道路の整備が一定の水準に達している都市部と、本格的な道路網整備がこれからという地方とでは、微妙な温度差が感じられる。特定財源がなくなれば、高速道路の整備は遅れ格差の拡大につながる恐れもあり、財源が余っているという中央の論理は受け入れ難いものである。もちろん、大切な税の使途については、これまで以上の節約に努めるべきであり、事業のコスト縮減は命題であるが、行財政改革を含めトータルな評価をすることも必要かと思う。利用者の立場に立ち、使いやすい道路のあり方を再考し、これまでの画一的な手法の殻を破ることも必要である。

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

本市では、広大な農地と温暖な気候を生かした県内有数の特色ある農業や畜産が振興されています。また、畑地かんがいなどの食料供給基地を担う基盤整備を進め農畜産物は県内上位の生産量を誇っています。水産物についても、養殖うなぎは国内トップクラスの生産量があり全国的にも高い知名度となっております。

そして国際的な物流の基地である志布志港は、昭和44年に国の重要港湾の指定を受けて以来、計画的に整備が進められており、新若浜地区において多目的国際ターミナルの整備が進められるなど、九州唯一の中核国際港湾として発展してきています。また、若浜地区においては、穀物貯蔵施設、配合飼料製造や運送業などの企業立地が進み、後背地の大隅半島をはじめとした南九州地域の玄関口とし機能しています。

○課題

志布志港については、九州で唯一の中核国際港湾に位置づけられていますが、今後の取扱量の増大が予想される中で、後背地の道路交通網は、更なる整備が求められます。特に、都城志布志道路や東九州自動車道については、物流の広域化・高速化による輸送力の向上が図られ、産業振興に大きく貢献するものであることから、早期整備が必要です。

また、国道及び県道などで渋滞がみられることから、渋滞解消のためバイパス道路整備などの利便性・快適性の高い道路交通網の整備が求められています。さらに、地域間を結ぶ道路の整備が急務になっています。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

鹿児島県志布志市

本市としては、農業地域として振興が図られてきた地域と、志布志港を中心に商業・物流地域として振興がはかられてきた地域とが一体となり、それぞれの個性を尊重し、のばしていく必要があります。

農業地域は「ふるさと」として捉え、農畜産物、自然、風土、生活様式などから得られる「やすらぎ」を広く内外に提供することを将来の姿として描き、また商業、物流地域については、志布志港を拠点とした国際的な物流がさらに進み、国際物流港として地位の向上を目指します。さらに、海に面していることを生かして、マリンレジャーやマリンスポーツに親しむ人々が増加し、港湾地区から市街地まで広がりのある空間をつくり、商業・物流地域を「みなと・まち」として捉え、人の往来や物流による「にぎわい」が創設されることを将来の姿として目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

鹿児島県志布志市

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	東九州自動車道 地域高規格道路「都城志布志道路」	九州における循環型高速交通ネットワークが形成され、整備が遅れている東九州地区に高速交通体系サービスをもたらし、九州一体となった発展に大きく寄与することが期待される。また、志布志港と後背地を結ぶ役割を担い、物流の広域化・高速化による輸送力の向上が図られ、産業振興に大きく貢献するものである。 九州縦貫自動車道宮崎線(都城 IC)や東九州自動車道(志布志 IC)と接続して広域交流ネットワークを形成し、国土の均衡ある発展を担うとともに、日本の食料基地である都城・曽於地区と重要港湾で中核国際港湾として整備の進められている志布志港を直結し、物流の効率化に寄与する。	